

俳句コンクール成績発表

S 25 専電 塚越 としを

〔兼題・梅雨・金魚・水芭蕉〕

【特選】池の面に雲漂へり水芭蕉

穂坂芳子（邦光氏夫人）

評 いいですね。著名な先達の日本画を鑑賞している感じにさせてくれます。いつも、肩を張らないこうした作品を目指して下さい。

出目金の尾のへらへらと笑ひをり

S 34 学原 芝山 佑芳

評 出目金は琉金の突然変異種で立派な尾緒を揺らして泳ぐ。飛び出した目玉はご愛嬌ですが、それを詠まずに靡く尾を笑うと見たところ共鳴。

【佳作】

夏祭り子等と金魚と煌めけり

穂坂芳子（邦光氏夫人）

（夜店の灯に泳ぐ金魚と集まってきた子供たち、共に煌めいています）

S 34 学原 芝山 佑芳

（球形のガラス金魚鉢を木の枝に吊して鑑賞しています。風情があります）

S 30 学機 檜山 邦良

（琉金の尾の揺れに、平安朝の女御の優雅な姿をオーバーラップさせましたか）

S 34 学原 芝山 佑芳

（梅雨の底、朽ちたボートが半分水に浸かっています。物憂い昼のひととき叩かれて落つ青梅や梅雨晴れ間

会友 平野 昌子

（水戸・偕楽園の梅の実落としては観光イベントになっています）

S 34 学原 芝山 佑芳

（和金の小さいのは、哀れです。夜店の金魚掬いに使われることもあります）

S 34 学原 芝山 佑芳

（今年の梅雨入りは一日で梅雨の中休みでした。予報士の浮かめ顔が面白い）

S 32 学金 穂坂 邦光

（赤出目金ですか、黒出目金ですか？買ってあげましょうよ）

S 34 学原 芝山 佑芳

（鬱陶しい梅雨を避けてお二人でのお出ましですか、ご馳走様です）

S 38 学電 熊谷 文男

（これは、世界遺産・富士山ですか。黒ずむは作者の感覚でしょう）

S 34 学原 芝山 佑芳

（胴体と同じぐらいの大きさの立派な尾緒です。藻も一緒に揺れています）

S 34 学原 芝山 佑芳

（青梅雨・青梅・青き、リフレインの面白さですかね。一寸、当たり前）

S 34 学原 芝山 佑芳

【選者吟】

梅雨しとど烏賊釣り舟の灯の揺らぎ

としを

金魚掬ひ網の破れし刹那かな

〃

水芭蕉瑕疵なき幌の白さかな

〃